

平成28年度  
高知県地域による教育支援活動

運用の手引き／モデル事例集



高知県地域による教育支援活動推進委員会  
高知県教育委員会

## はじめに

近年、核家族化や地域コミュニティの希薄化などを背景に、子どもたちの成長を支えてきた家庭や地域の教育力が弱まってきていると言われています。こうした中で、高知県の一定数の子どもたちが、学力の未定着や虐待、非行、いじめ、不登校などといった困難な状況に直面しています。このように子どもたちを取り巻く環境が厳しさを増す中、複雑で多様な課題に学校だけの力で対応していくことには限界が生じており、学校と地域とが連携して、社会全体で子どもたちを見守り、支え、育てていく仕組みをつくる必要があります。

このため、県では、この3月に策定しました「教育等の振興に関する施策の大綱」及び「第2期高知県教育振興基本計画」の中で、「地域との連携・協働」を取組の方向性の一つに掲げています。具体的には、地域ぐるみで子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）を行う「学校支援地域本部」の設置促進や活動内容の充実を図るとともに、子どもたちが地域の多くの方々に見守られながら、安全で安心して過ごせる放課後の居場所の確保と学びの場の充実を図る「放課後子ども総合プラン」を推進するなど、学校と地域の連携・協働を積極的に進めることとしています。

学校支援地域本部事業では、地域の方に、授業の補助や放課後等の学習支援をしていただいたり、登下校時の声かけや交通安全指導の他、子どもたちと一緒に防災訓練や花壇の整備をしていただいたりと、それぞれの地域や学校において様々な活動が行われています。平成27年度末時点で25市町村43本部92校で実施されていますが、28年度からは34市町村68本部134校で取組が始まるなど広がりを見せています。

また、放課後子ども総合プランでは、現在9割を超える小学校に「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の両方もしくはどちらかが設置されており、地域の多くの方々の参画を得て、様々な体験・交流活動が行われています。

地域によって社会資源が異なるため、連携の仕組みや活動内容は多様なものとなっていますが、学校と地域の連携・協働は多くの地域で実践されています。こうした取組を通じて、地域の方々に子どもたちのことを知っていただき、また、子どもたちも地域の方々を知っているという関係をつくりながら、学校と地域が連携・協働して子どもたちを支え、育てていくことができます。

今回の事例集では、学校支援地域本部や放課後子ども教室等を一つのツールとして、学校と地域が力を合わせて子どもたちの育ちを支援しようとする取組を紹介するとともに、事業の実施に関する手引きを掲載しています。

ぜひ、この事例集を参考にいただき、それぞれの地域らしさを生かした創意工夫ある地域づくりにお役立ていただければ幸いです。

終わりに、本事業の推進にご尽力いただいております地域の支援者の皆様をはじめ、多くの関係各位に心から感謝申し上げます。

## 目次

はじめに

地域との連携・協働の全体像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

<学校支援地域本部の手引き>

学校支援地域本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

○高岡第二小学校支援地域本部（土佐市）・・・・・・・・ 7

○大栃保小中学校支援地域本部（香美市）・・・・・・・・ 11

○上分小中学校支援地域本部（須崎市）・・・・・・・・ 15

○民生委員・児童委員との連携・・・・・・・・ 19

— 赤岡小学校区支援地域本部（香南市）—

○心が通い合う学習支援（放課後学習室：地域未来塾）・・・・ 20

— 日高中学校区学校支援地域本部（日高村）—

<放課後子ども教室の手引き>

放課後子ども教室・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

○吉川小学校放課後子ども教室：うなお学校（香南市）・・・・ 25

○奈路小学校放課後子ども教室（南国市）・・・・・・・・ 29

○大月町放課後子ども教室（大月町）・・・・・・・・ 33

<放課後児童クラブの手引き>

放課後児童クラブ・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

事業開始時のチェックポイント・・・・・・・・・・・・・・・・ 41